

「京成小岩駅周辺地区まちづくり基本計画（案）」の意見募集結果について

京成小岩駅周辺地区まちづくり基本計画（案）」に関する意見募集手続は、令和4年10月2日から10月19日までの期間で行いました。その際、15名より計21件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見及び区の考え方は、以下の通りです。

1 意見募集手続の概要

(1) 意見募集期間

令和4年10月2日から10月19日までの間

(2) 周知方法

ア 区公式ホームページに掲載

イ 京成小岩駅周辺地区まちづくりニュース 17号（令和4年9月発行）に掲載
京成小岩駅周辺地区内全戸に配布及び地区外権利者へ郵送

(3) 意見の提出方法

ア 区公式ホームページ

イ 個別説明会

ウ 持込み、郵送及びFAX

(4) 提出先

都市開発部まちづくり調整課まちづくり計画係

2 意見募集の結果

(1) ご意見と区の考え方

	いただいたご意見	区の考え方
1	将来の地域・世代のためになるまちづくりを目指してほしい。前向きな方針をもとに、地区だけではなく地域全体が快適な暮らしができる環境を実現できると良い。 高齢者も生活しやすい環境になることを望む。	子育て、教育、スポーツ施設、生活便利施設（商業、医療、高齢者福祉施設など）を誘導するとともに、ユニバーサルデザインを取り入れた、利用しやすい施設の整備を促進し、高齢者を含め、多様な人が暮らしやすいまちの実現を目指します。
2	地域の個性を生かしつつ、それを発展させるような街づくりを目指してほしい。	基本構想では、地域の目指すべき将来像を「北小岩らしさ」があふれるまち」としており、基本計画（案）では、地域を支える商店会がつながるまちづくり、エリアマネジメント

		活動の仕組みづくりなどにより、コミュニティ、文化、歴史などの、継続・発展に取り組んでいきます。
3	まちづくりには反対で、まちづくりの計画はしなくてよい。	地域の方々からは「まちづくり活動を進めなければ、まちの活気が失われていってしまう」とのご意見もいただいているため、まずは検討を進め、具体的な計画について広くご意見をいただき、判断材料を作成します。その上で、事業化へ進むかの可否を地区の方々と考えていく予定です。
4	まちを良くし、ひとが増えるようにすることは良いこと。スピードアップしてやってほしい。	住み続けたい、移り住みたくくなるようなまちを目指して、まちづくりに取り組んでいます。 また、より効果的に推進するため、連続立体交差事業に合わせて進めていく予定です。
5	まちづくりにおいて「人中心の和・京成小岩」を基本的な方向性としていることから、駅前空間はバスやタクシー乗り場ではなく、人や自転車などを優先した空間にしてほしい。基本計画(案)の内容からは、バスやタクシー乗り場が優先的に整備されているように感じる。	バス・タクシー乗り場を優先しているのではなく、必要な交通結節機能を確保した上で、歩行者が快適に移動できる環境やユニバーサルデザインによる誰もが移動しやすい環境づくりなどを通して、人を中心とした交通環境の創出に取り組んでいきます。引き続き、基本的な方向性である「人中心の和・京成小岩」に沿って、計画を進めていきます。
6	現状の駅前から続く商店街の道路は、歩車道の間にある段差ブロックは段差が高く、車優先の交通環境となっているため改善すべき。	段差解消ブロックを採用するなど、ユニバーサルデザインを推進し、誰もが利用しやすい交通環境を目指します。
7	交通結節点ということで、駅前空間が必要というのであれば、比較検討してみることをお勧めする。	駅付近の関係権利者や関係機関との協議を進めながら、駅前空間の配置などを比較検討していく予定です。
8	地域の拠点となる図書館を中心とした複合施設、カフェなどのにぎわいを生む空間、十分な換気などのウイルス感染対策がなされている施設整備、飲食を目的とした集會室、区役所分室、保育園や体育館などの施設導入の検討を進めてほしい。	地域の方々のご要望も踏まえながら、子育て、教育、スポーツ施設などの都市機能を充実させるほか、人の交流が生まれる施設の誘致、導入を検討します。

9	<p>拠点ゾーンに無駄に広いオープンスペースは、景観上も土地利用効率上も良くない。国分寺駅がイメージとしてあるが、国分寺駅に高層の駅ビルを建てて商店街などの必要な機能を最大限集約しているが、もともと賑わいのある駅だからオープンスペースが活用されているのではないかと感じる。</p> <p>また、オープンスペースをマルシェやイベントに活発に活用できるのか疑問を感じる。開催にあたっては、緑化を兼ねた公園広場や屋内に空間を作ったほうが良いのではないかと感じる。</p>	<p>駅前空間には、交通結節機能のほか、歩行空間などのオープンスペースといった公共空間の役割があり、イベントなどに活用されています。</p> <p>本地区においても、お祭りやイベントなどに活用できる駅前空間を要望されており、活用方法を含め、にぎわいや交流を生む、地域交流の場となる公共空間の創出を検討していきます。</p>
10	<p>まちづくり事業について、経済効果の予想も示すことで、住民からの納得と協力が得られる。</p>	<p>令和7年度をめどに、まちづくり事業計画を作成する予定です。事業手法や事業性を検討し、関係権利者にお示ししながら、具体的な計画を作成していきます。</p>
11	<p>街路事業と再開発事業で違うということをはっきりと見せてほしい。それらのことを地域の人、地権者に見せてほしい。</p>	<p>令和7年度をめどに、まちづくり事業計画を作成する予定です。様々な事業手法を比較検討し、関係権利者にお示ししながら、具体的な計画を作成していきます。</p>
12	<p>まちづくりを具体化していく中で防災対策を示せたら良い。水害対策など江戸川区ハザードマップ「ここにはダメです」への対策を示せたら良いと感じる。</p>	<p>風水害を想定した施設整備の誘導や、駅前の上部空間を活用した待避場所の整備を検討していきます。具体策については、駅前空間や拠点づくりとあわせて検討していきます。</p>
13	<p>駅前広場は、災害が発生した際、電車が止まった際、人の滞留が起こったときに必要で、災害時の避難場所と考えられる。</p>	<p>ご意見のとおり、駅前広場は、災害時に帰宅困難者が一時的に滞在できる空間や、緊急車両が乗り入れて円滑に活動するためのオープンスペースにもなることから、整備が必要であると考えています。</p>
14	<p>まちづくりのスケジュールは、連続立体交差事業の計画にあわせるのか。</p> <p>まちづくりが進んでいくのかが気になる。</p>	<p>より効果的にまちづくりを推進するため、連続立体交差事業に合わせて進める予定です。</p> <p>また、京成高砂駅～江戸川駅付近が連続立体交差事業の準備区間となったことから、より一層まちづくり活動の推進に努めていきます。</p>
15	<p>JR 新小岩駅の南北自由通路を掲載しているが、イメージとして天井高さが低いと感じ</p>	<p>JR 新小岩駅の通路は、一例として掲載しています。高架下の天井高さなどは構造的</p>

	る。高架下がイベント広場となる広い空間になると良いのではないか。	な条件もあるため、東京都による連続立体交差事業とあわせて検討する予定です。
16	高架下の利用は重要である。	東京都の連続立体交差事業の検討とあわせて、地域貢献につながる施設の導入促進や通行機能の導入を検討する予定です
17	基本計画の文章をもう少しシンプルにわかりやすく書いてほしい。	基本計画策定に合わせて、内容をわかりやすくまとめたパンフレットを作成し、後日皆様に配布する予定です。
18	個別の計画の話でないなら、ホームページなどで周知すれば良いのではないか。	多くの方に知っていただき、広くご意見をいただくために、ホームページへの掲載や個別説明会を開催するなど、今後も様々な媒体・方法を活用して、丁寧に周知に努めていきます。
19	コロナの発生後、勉強会などの会合が無く、具体的な検討が分からないため、出来るだけ早いうちに会議などで、具体的な検討内容を共有したい。	権利者勉強会などを開催するとともに、まちづくりニュースなどで、検討内容をお知らせしていきます。